

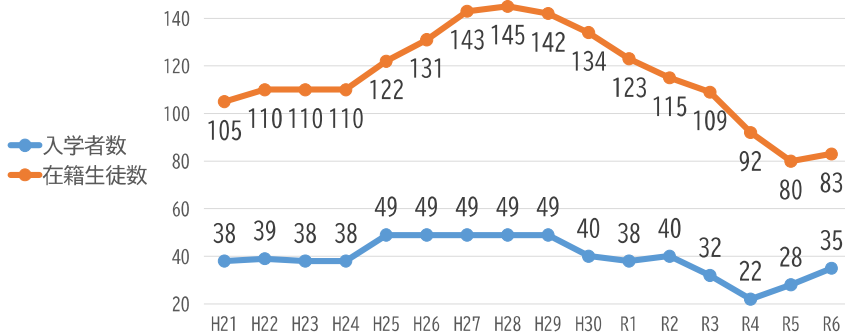
資料 2

北九州市立特別支援学校 北九州中央高等学園の概要

- ◇所在地 北九州市戸畑区沢見一丁目3番47号
- ◇開校 平成19年4月
- ◇定員 120名(各学年40名×3学年)
- ◇生徒数 83名 ◇職員数 40名
- ◇沿革 平成24年～全国アビリンピック連続出場
平成24年 博報賞受賞
令和 2年 北九州市優れた教育実践校受賞
令和 7年 小倉北区 旧東芝工場跡地へ移転



◇生徒数の推移

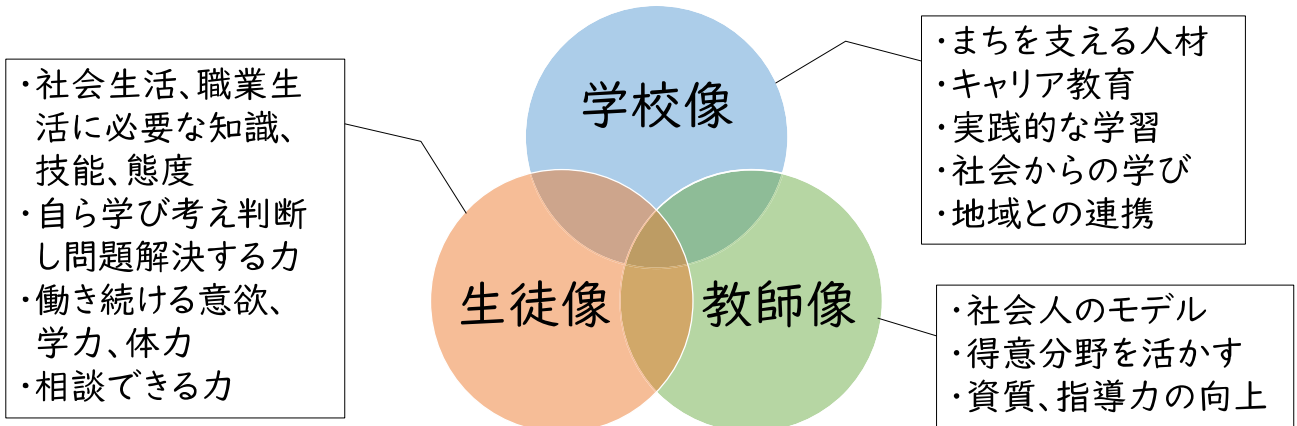


本市で唯一の
高等部単独校

軽度の知的障害の
ある生徒が就労を
目指すために設立

学校教育目標

- ① 卒業後の自立的な社会生活や職業生活をめざし、必要な態度や技能、知識などを学習する職業学科への移行を意識した学校教育の創造
- ② 一人一人の障がいの状態や能力・適性に応じ、卒業までの3年間の教育を見通し、生徒個々の可能性の最大限の伸長
- ③ 社会自立・職業自立に必要な基礎・基本の定着を図る。就労先を決定するだけでなく、働き続けるために、「生涯を通じて自らを高められる力」を育成し、個性が輝く教育の推進



職業教育の充実に向けた取組

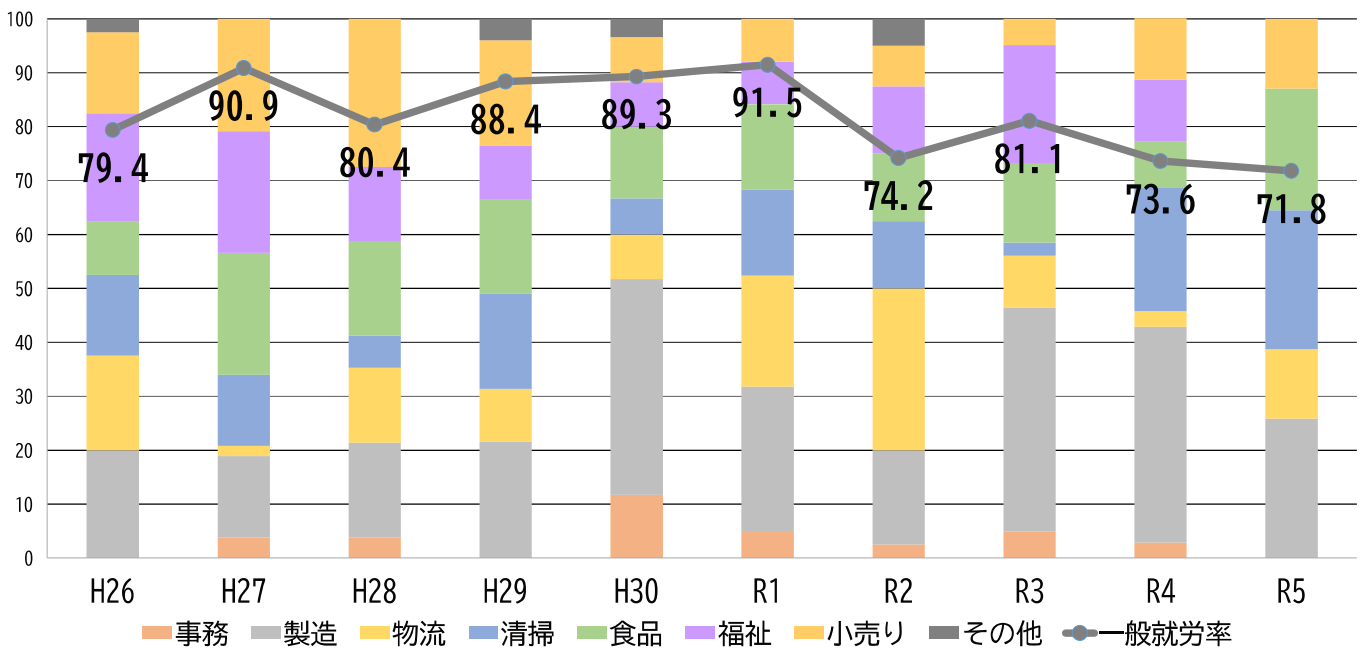


- <実習協力企業>
約530社
- アルサ・イオン九州・大阪シーリング
 - ガスト・化成フロンティア・福山通運
 - クラウン製パン・グリーンロジスティックス
 - 黒崎播磨・さわやか倶楽部
 - サンアリアTOTO・サンキュウウイズ
 - セブンイレブンジャパン・JR九州
 - 資さん・ダイキ・ダイハツ自販
 - デンソー九州・ナフコ・ニッスイ
 - 濱田重工・ハローデイ・福岡トヨタ
 - ヤマト運輸・陽和・保育所・病院 等

学校で身に付けた働く力を実際の場面（実習先）で発揮し、そこで得た成果と課題を、また学校での学習に生かす、というサイクルで、社会で自立するために必要な力を高めます。

卒業生の進路状況

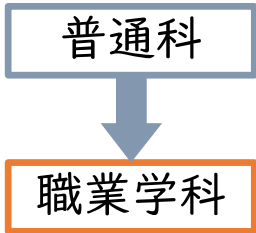
一般就労率と就労先の状況



「普通科」から「職業学科」へ

新校舎への移転

- ◇所在地 北九州市小倉北区下到津【東芝工場跡地】
- ◇供用 令和7年度末予定 小倉北特別支援学校と併設
- ◇定員 120名(各学年40名×3学年)
- ◇学科



「普通科」から「職業学科」へ

キャリア教育及び職業教育の充実

特別支援学校学習指導要領解説 総則等編

生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等、学校や地域の実態等を考慮し、地域及び産業界や労働等の業務を行う関係機関と連携を図り、就業体験活動の機会を積極的に設ける。

- 職業学科**
- 实际的な知識や技能
 - 自己の職業適性や将来設計
 - 主体的な職業選択
 - 高い職業意識・職業観と規範意識の育成
 - コミュニケーション能力等に根ざした実践力



「普通科」から「職業学科」へ

専門教科の目標及び内容

特別支援学校学習指導要領解説 総則等編

これまで(普通科) 知的障害の各教科等の目標・内容を基にした教育課程

各教科	各教科等を合わせた指導	領域
国語 数学 情報 音楽 美術 保健体育 家庭 社会・理科 外国語 職業 道徳	作業学習 清掃・福祉 パン・接遇 事務・軽作業 農耕	総合的な学習の時間 特別活動 自立活動

これから(職業学科) 知的障害の各教科等 + 職業に関する専門教科による教育課程

各教科	専門教科					領域		
	流通・サービス	家政	福祉	農業				
国語 数学 情報 音楽 美術 保健体育 家庭 社会・理科 外国語 職業 道徳	オフィスサービス	ロジスティクス	ビルクリーニング	フードサービス	介護コミュニケーション	ファームワーク	総合的な学習の時間 特別活動 自立活動	

※コース名は仮称

【専門教科】

流通・サービス
商品管理/販売/清掃/事務

家政
調理/生活産業

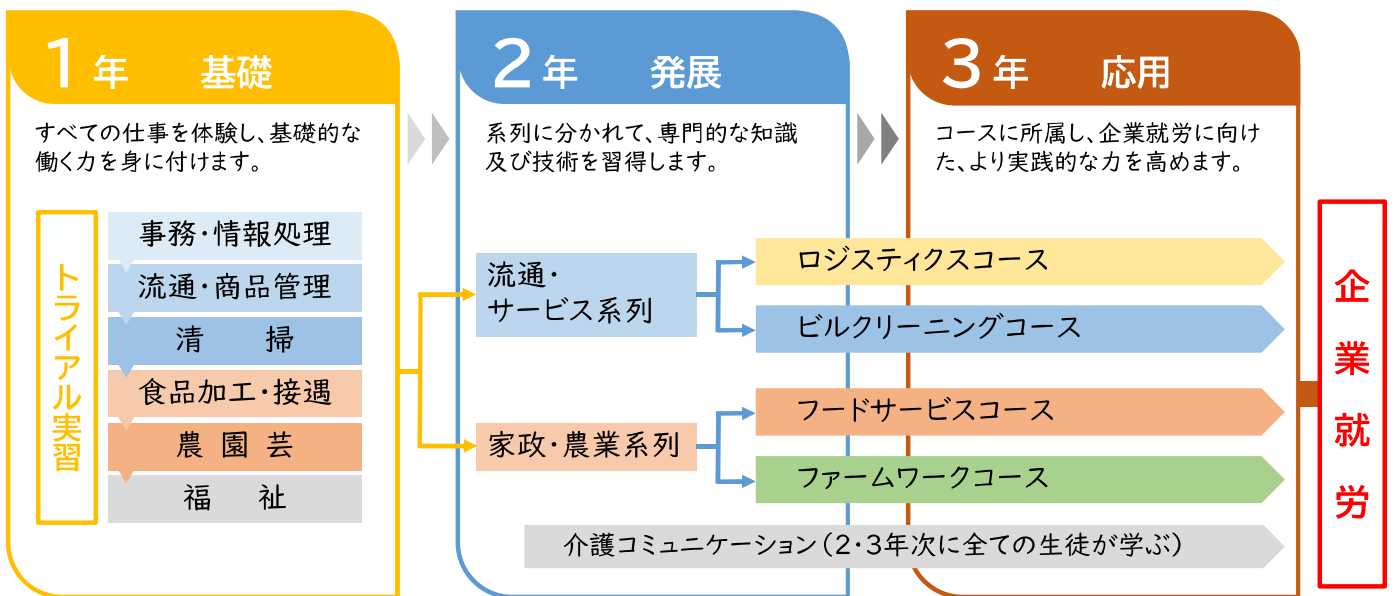
福祉
社会福祉/介護/生活支援

農業
農業生物の栽培と管理/
地域資源の活用

7

「普通科」から「職業学科」へ

職業教育の流れ (イメージ)



8

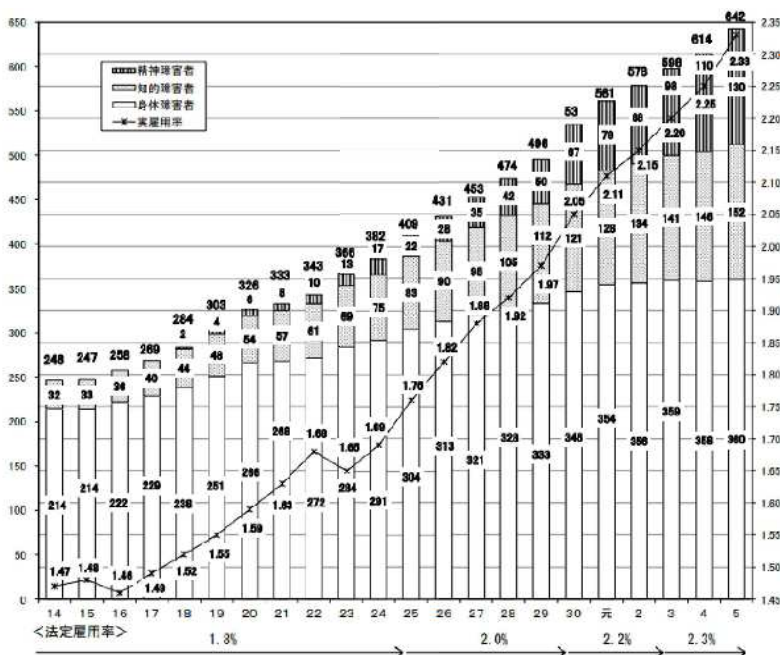
「普通科」から「職業学科」へ

年次進行（イメージ）



障害者雇用の状況

民間企業における障害者雇用状況の推移



64.2万人
20年連続過去最多更新

法定雇用率 2.5%
(令和8年4月に2.7%に引上げ)

【障害者雇用で期待できること】

- 共生社会の実現
- 労働力の確保
- 生産性の向上